

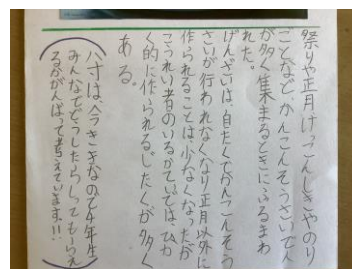
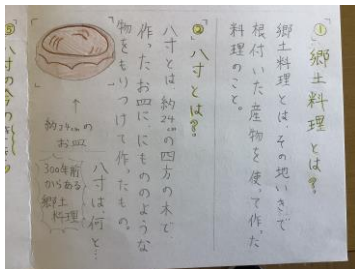
1 「本質的な問い」による単元(題材)構想について

○「わたしたちは、地域とどう関わり、この地域でどのように生きるか」という問いに対し、地域の伝統料理である八寸について学習することで、伝統を受け継いでいくために自分たちにできることを考えることができた。

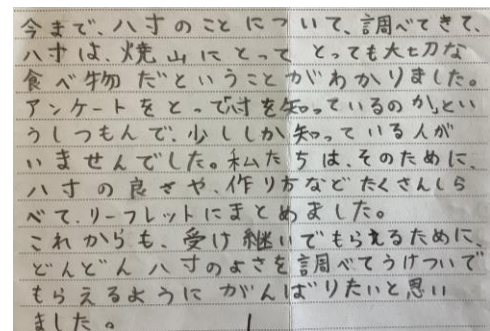
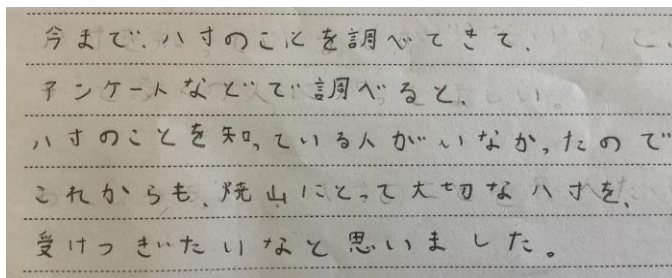
●「この地域でどのように生きるか」ということに対し、自分のイメージや考えを持つことが難しそうな様子も見受けられた。また感染対策のため、女性会の方を招いての調理実習を行うことができなかったため、地域の伝統を受け継ごうとする人の思いに触れる機会が少なく、身近な伝統として捉えることが難しい児童も見受けられた。

2 単元(題材)で育成を目指す資質・能力について

○八寸が置かれている現状を調べるためにアンケートの集計を行ったり、調べたことをリーフレットにまとめたりする活動を通して、他教科との関連を意識しながら取り組むことができた。



○学びのレシピを活用することで、自分たちの活動に見通しを持ち、主体的に取り組むことができた。また、八寸のよさを伝える相手を身近な家族に設定したことで、何をどのように伝えようと受け継ごうと思ってもらえることができるか、目的意識を明確に持って取り組むことができた。



●単元を通して、収集した情報を分類したり関係付けたりしながら分析することに難しさを感じる児童が多かった。栄養教諭の話の聞いたり、タブレットを使ったりして情報を集めることについては意欲的に取り組んでいたが、集めた情報を整理して関連付けることが難しい様子があった。そのため整理する視点を提示したり、シンキングツールを用いてまとめたりする活動に取り組んできた。

3 「デジタル機器」の活用

○グループでの話合いや情報を整理する際に、タブレット端末を活用することで活動の質を高めることができた。特に話合いの際にロイロノートの共有ノートを使うことで、考えを整理しながら話合いを進めることができた。

●調べ学習を行う際に、ネット上にある膨大な情報の中から必要な情報を選んだり、自分の知りたいことをなかなか見付けられなかったりする児童が見られた。情報の取捨選択や調べるときの手順についてこれからも取り組んでいきたい。